

医療法人社団みなみつくば会では、今春 OPEN した「介護付有料老人ホーム サンシャインつくばリゾート」（茨城県つくば市）にて、専門医が考案したクラウド型高齢者見守りシステム「ライフリズムナビ+Dr」を採用。同システムにより、当法人が目指す ICT・IoT を活用した先進的介護と入居者を支える介護職員の負担軽減を図りながら、新たな介護サービスのありかたを創出していきます。

居室ベッドのマットレスの下に取り付けた非接触睡眠センサー、居室には温湿度センサー、天井やトイレにも人感センサーを配置しました。睡眠・温湿度・活動量それぞれのデータを取得し、介護職員に代わり身体状況や居室の活動状況を見守ります。

“非接触”のため、入居者のプライバシーを確保することができるとともに、居室内の生活情報についても、導入した介護ソフトと連動させることで、職員の記録業務の負担軽減にもつながります。夜間帯 2 時間ごとの定時巡視業務・記録業務の入力時間が大幅に削減されることで、ケアが必要な入居者へ必要な時に介入する介護・医療の効率化を実現していきます。サービスの質的転換をはじめ、夜勤職員の休憩時間を確保できることによる業務の負担軽減を支援します。



「ライフリズムナビ+Dr」イメージ図